

わかりやすい予算書

ことしの予算

平成29年度版

亀山市

坂本棚田のみつまた(安坂山町)

緑の健都へ・瞬発の年



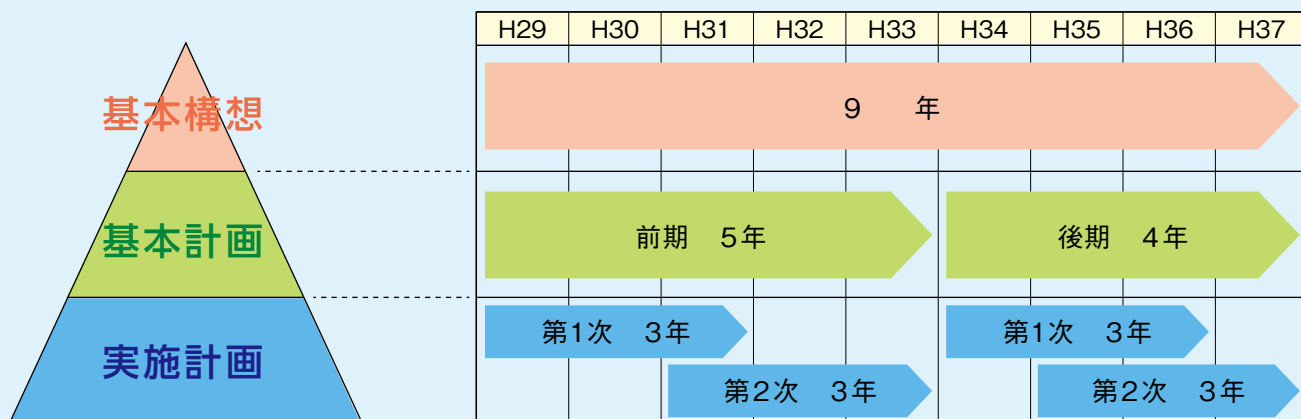
市の最上位計画である第2次亀山市総合計画が始動し、将来都市像として描いた「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都かめやま」の実現に向けた取り組みがスタートしました。

人口減少社会が到来するなかで、豊かな自然や歴史文化と共生しながら、小さいながらも「暮らしやすさ」や「心地よさ」を備えた活力ある都市へと成長できるよう、市民の皆さまとともに「オール市役所」全庁一丸となって、最善の努力を積み重ね、取り組んでまいります。

総合計画とは

第2次亀山市総合計画

第2次亀山市総合計画は、市の将来像などを示す「基本構想」を頂点に、その実現のための施策の方向を示す「基本計画」、また、基本計画を具体的に進めるための主要事業をまとめた「実施計画」の3層により構成しています。



基本構想

歴史・ひと・自然が心地よい

将来都市像 緑の健都 かめやま

地域に根ざした自然・歴史・産業が調和した「まち」、心身ともに健やかな日々を過ごせる「ひと」の暮らす亀山市。こうした亀山市の心地よさを「まち」も「ひと」も健康な状態であると捉え、それをさらに高め、次代へつなげるため、持続的に発展し続けられる「健康都市」でありたいという想いを、将来都市像として示しています。

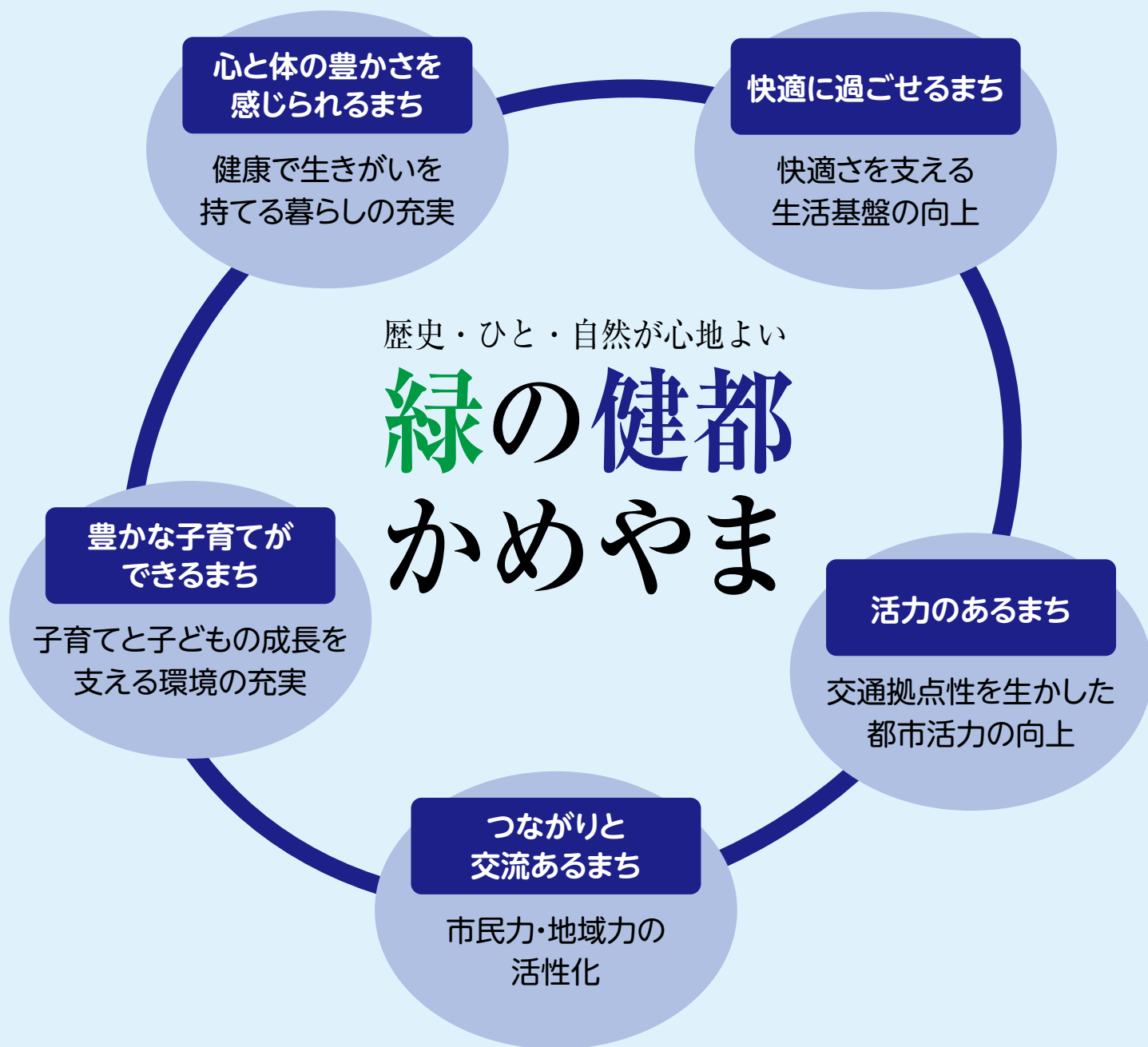
まちづくりの基本方針 市民力・地域力が輝くまちづくり

将来都市像の具現化を図るためには、多くの課題を解決していかなければなりません。そのためには、市民・団体・地域・事業者など亀山市に関わるすべての主体がそれぞれの持つ力を合わせ、連携・協働してまちづくりを進めることが重要です。

こうしたことから、市民と地域の持つ力を生かし、輝かせるまちづくりとして、『市民力・地域力が輝くまちづくり』を今後のまちづくりの基本方針として位置づけています。

施策の大綱

市が目指す将来都市像から導かれる「目指すまちのイメージ」に対応し、その具現化を図るために推進する政策の柱として、5つの「施策の大綱」を位置づけ、まちづくりを展開します。



前期基本計画

5つの大綱に行政経営を加えた6つの施策の大綱のもとに、30の基本施策、329の個別施策を位置づけています。

前期基本計画のポイント

5つの戦略プロジェクト

人口減少社会に対応し、持続的に成長することができるよう、5つの戦略プロジェクトを掲げ、重点的に取り組むこととしています。

- 戦略プロジェクト1 『健都さぷり』
- 戦略プロジェクト2 『安全力ジャンプアップ』
- 戦略プロジェクト3 『J R 亀山駅周辺拠点力向上』
- 戦略プロジェクト4 『ジモトノココロ』
- 戦略プロジェクト5 『そして、親となるまち』

平成29年度予算総額

341億5,860万円

平成29年度当初予算は、第2次総合計画前期基本計画の初年度として、基本構想における将来都市像の実現に向けた事業に積極的に取り組むとともに、併せて、本市への移住・定住の促進を図るなど地方創生関連事業を実施する予算としました。

新総合計画瞬発予算

平成29年度に取り組む主な事業として、継続して実施します川崎小学校改築事業や野村布気線整備事業のほか、新たに着手します亀山駅周辺整備事業や学校の普通教室等への空調機整備事業などのハード事業、また、放課後児童の居場所づくりを行う放課後児童クラブ事業や地域予算制度の創設により拡充された地域まちづくり協議会支援事業などのソフト事業を実施していきます。



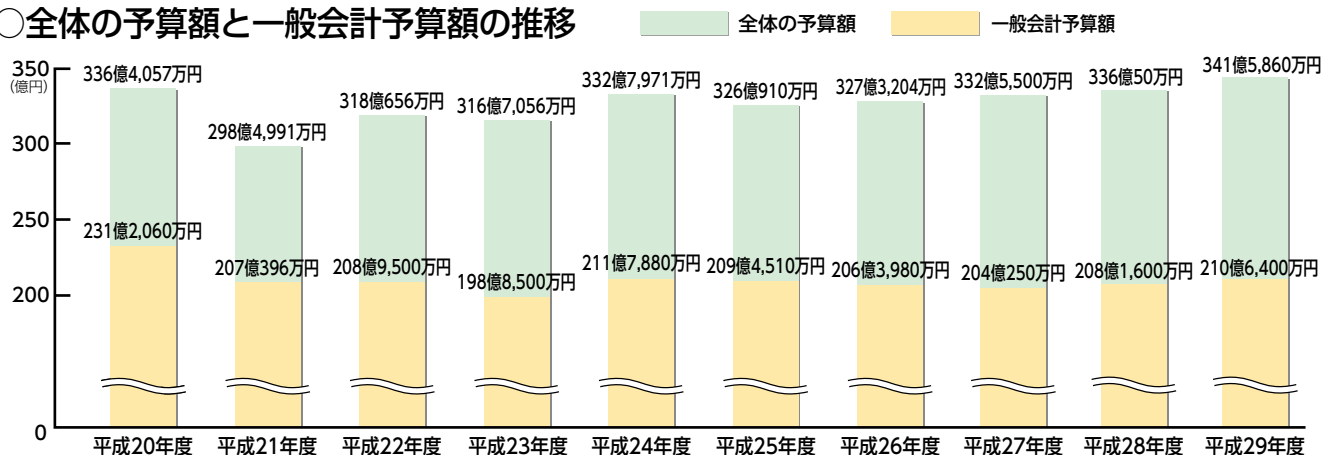
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ① 国民健康保険事業
52億4,320万円 (前年度比0.5%増)
- ② 後期高齢者医療事業
8億9,550万円 (前年度比0.2%増)
- ③ 農業集落排水事業
4億5,150万円 (前年度比0%)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ① 水道事業
20億3,080万円 (前年度比17.9%増)
- ② 工業用水道事業
8,600万円 (前年度比4.0%増)
- ③ 公共下水道事業
22億1,130万円 (前年度比5.9%減)
- ④ 病院事業
21億7,630万円 (前年度比5.3%増)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

総額

210億6,400万円

歳入

市税 102億310万円

市民税や固定資産税など

繰入金 13億2,955万円

貯金(基金)の取り崩し

諸収入 3億8,659万円

雑収入など

繰越金 1億円

前年度からの繰越金

その他 6億5,962万円

保育料や使用料など

* **自主財源**

市が自主的に収入できる財源

国庫支出金 21億5,189万円

国からの補助金など

市債 22億8,070万円

公共事業の財源とするために借りたお金など

地方交付税 15億1,000万円

財政力に応じて国から交付されるお金

県支出金 10億5,055万円

県からの補助金など

地方消費税交付金 9億円

消費税のうち、地方分として市に配分されるお金

その他 4億9,200万円

地方譲与税など

* **依存財源**

国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

48.5%

自主財源
60.2%

6.3%

1.8%

3.1%

10.2%

10.8%

7.2%

5.0%

4.3%

2.3%

依存財源
39.8%

歳出

民生費 65億834万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などに

30.9%

教育費 28億8,744万円

学校教育、生涯学習、図書館、博物館などに

土木費 26億4,315万円

道路、河川、公園などの整備に

13.7%

衛生費 22億6,395万円

健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに

公債費 22億6,335万円

借りたお金(市債)の返済に

12.6%

総務費 21億6,214万円

庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに

消防費 9億1,768万円

消防や火災予防などに

10.7%

農林水産業費 7億2,473万円

農業、林業の振興などに

10.7%

商工費 3億2,066万円

商工業などに

議会費 2億4,205万円

議会運営などに

10.3%

その他 1億3,051万円

基金積立金などに

4.4%

3.4%

1.5%

0.6%

1.2%

『健都さぷり』プロジェクト

プロジェクト事業の総額
4億4,510万円(平成29年度)

「健康都市」として市民の健康を支える都市環境を整え、市民が自分自身で、地域で行う主体的な健康活動を促すとともに、市民のライフステージに応じた健康づくり支援を行うことで、市民の健康寿命を伸ばし、健康的で豊かな暮らしの実現を目指します。

がん検診推進事業

予算額 9,963万円／長寿健康づくり室

がんの早期発見と正しい知識の普及を図るため、各種がん検診の実施や啓発活動を行います。

【主な検診項目】

胃がん、子宮がん、大腸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん

三重大学亀山地域医療学講座支援事業

予算額 3,120万円／長寿健康づくり室

三重大学が市で行う研究を支援し、医療センターの医師を確保します。



このほか、こんな事業にも取り組みます

特定健康診査・特定保健指導事業

予算額 3,080万円／保険年金室

国民健康保険の被保険者に対し、生活習慣病に着眼した特定健康診査や特定保健指導を実施します。

『安全力ジャンプアップ』プロジェクト

プロジェクト事業の総額
2億7,585万円(平成29年度)

南海トラフに起因する大規模な地震災害の発生や、近年、大型化する風水害など、本市における災害へのリスクに備え、自助・共助・公助により、市全体での防災力・減災力の向上を目指します。

地震対策・木造住宅補強事業

予算額 5,360万円／危機管理室

地震に起因する建物倒壊などの人的被害を防止するため、木造住宅の無料耐震診断調査の実施および耐震補強計画・耐震補強工事にかかる一連の経費の一部を助成します。

橋梁耐震化補強事業

予算額 8,700万円／維持修繕室

地震災害時における道路利用者の安全・安心や避難路を確保するため、橋梁の耐震補強工事を実施します。



西野公園体育館空調設備整備事業 (緊急防災事業)

予算額 1億2,320万円／文化スポーツ室

災害時の指定避難所である西野公園体育館の空調設備工事に取り組み、避難所における施設環境の整備を図ります。

『JR亀山駅周辺拠点力向上』プロジェクト

プロジェクト事業の総額
9億4,439万円(平成29年度)

本市の中心的拠点であるJR亀山駅周辺のにぎわいと都市機能を高めることで、中心的都市拠点の求心力の向上を目指します。

亀山駅周辺整備事業

予算額 2億4,920万円／都市計画室

JR亀山駅周辺の整備を進めるため、組合や事業者が行う再開発事業等を支援するとともに、周辺道路や駅前広場整備を進めます。



地域生活交通再編事業

予算額 1億1,439万円／商工業振興室

バスなどによる効率的・効果的な運行を行うとともに、新たに乗合タクシーを導入し、都市拠点と各地域を結ぶ公共交通ネットワークを構築します。



『ジモトノココロ』プロジェクト

プロジェクト事業の総額
2億2,810万円(平成29年度)

5万人の人々が暮らす亀山市には、豊かな自然と歴史文化という「ふるさと亀山」の源があります。この「ふるさと亀山」の源である自然と歴史文化を守り、継承することで、子育て世代のさらなる定住促進します。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

予算額 1,720万円／森林林業室

災害に強い森林づくりや市民全体で森林を支える社会づくりを実現するとともに、鈴鹿川等源流域再生事業などを行います。

かめやま文化年事業

予算額 1,881万円／文化スポーツ室

「つながる」をキーワードに、交流・継承・人材育成の視点を踏まえたテーマ別事業を展開し、地域の文化力の向上を図ります。

関の山車会館整備事業

予算額 1億2,306万円／まちなみ文化財室

「関の山車」を保存・展示し、^{まつりばやし}祭囃子などの伝承活動の拠点となる関の山車会館を整備します。



『そして、親となるまち』プロジェクト

プロジェクト事業の総額
3億5,603万円(平成29年度)

亀山市が将来にわたって持続的に発展していくためには、若い世代が子育てしながら安心して住み続けられるまちであることが必要です。その実現に向けて、恵まれた子育て環境の充実とその魅力の発信を強化することで、子育て世代のさらなる定住を促進します。

放課後児童クラブ事業

予算額 1億1,500万円／子ども家庭室

放課後児童クラブの運営主体への必要な支援を行い、保護者が就労などと子育ての両立できる環境づくりを行います。



長期休暇子どもの居場所事業

予算額 380万円／子ども家庭室

夏休みなどの長期期間に「子どもの居場所」を開所し、保護者が安心して就労などができる環境を整えます。

福祉医療費助成事業(子ども)

予算額 1億9,160万円／保険年金室

中学校修了までの児童にかかる医療費負担の軽減を図るため、通院・入院に要する医療費への助成を行います。

このほか、こんな事業にも取り組みます

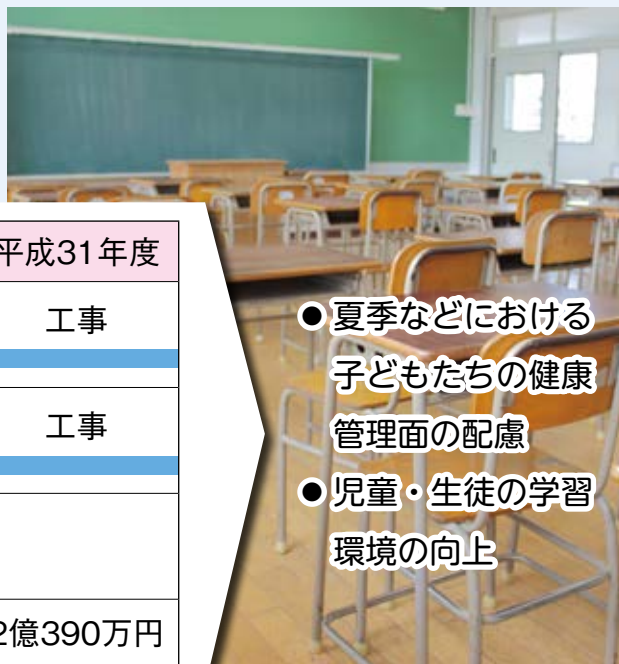
普通教室空調機整備事業(中学校)

予算額 260万円／教育総務室

児童・生徒が快適な環境の中で学ぶ意欲を高めることができるよう、教育環境を整備します。

幼稚園・小学校・中学校の教室など計画的に整備を進めます。

普通教室のすべてに エアコンを設置します!



- 夏季などにおける子どもたちの健康管理面の配慮
- 児童・生徒の学習環境の向上

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
幼稚園 (3園)		設計	工事
小学校 (9校)		設計	工事
中学校 (2校)	設計	工事	
事業費	260万円	6,340万円	2億390万円

地域まちづくり協議会支援事業

予算額 2,785万円／地域づくり支援室

地域予算制度で 地域の活動を応援します！

地域自らが地域の課題解決に向けて取り組む自立した地域まちづくりを促進します。

平成28年度

市内22地区で
まちづくり協議会が
設立

平成29年度

地域予算制度の創設



1. 地域まちづくり交付金

「地区コミュニティ活動費補助金」「健康づくり事業補助金」を廃止し、地域まちづくり協議会を対象とする補助金を一本化することで、交付金としました。

地域予算制度の創設により

- 地域まちづくり計画の策定・推進
- 事務局体制の強化
- 地域課題解決のための各種事業の実施

2. 地域活性化支援事業補助金

地域課題解決のために、より積極的に実施する事業を支援するための制度

【対象】 地域まちづくり計画に基づき実施する事業（まちづくり協議会条例第5条に掲げる事業）

【補助金額】 対象経費の2/3以内
(上限30万円)

健康増進事業

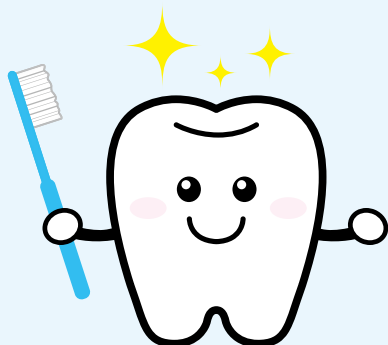
予算額 1,480万円／長寿健康づくり室

三重県初となる歯周病検診の 対象者を拡大します！

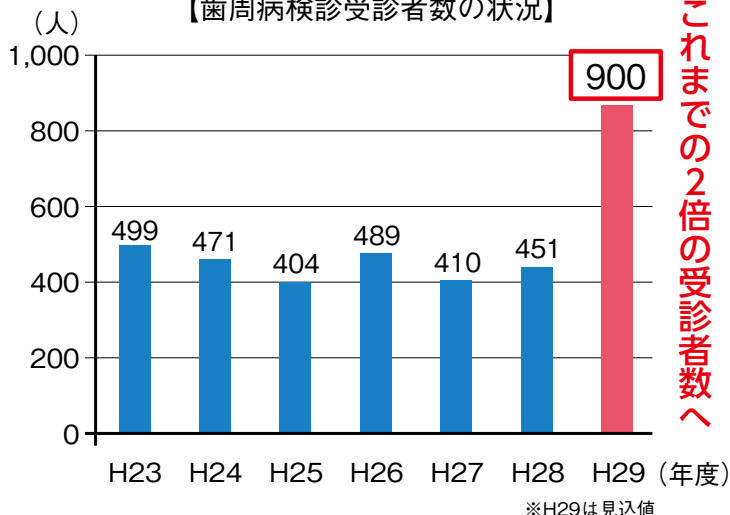
市では、歯周病検診の対象者を30歳からとし、若い世代からの歯の健康づくりに取り組んでいます。

さらに、10歳刻み（30・40・50・60・70歳）の検診実施から
5歳刻み（30・35・40・45・50・55・60・65・70歳へ）の検診実施とし、早期発見・健康増進につなげます。

若いころから
”歯の健康づくり”を！



【歯周病検診受診者数の状況】



刈り草コンポスト化センター環境整備事業

予算額 1億3,185万円／廃棄物対策室

刈り草コンポスト化センターの民間委譲を円滑に進めるため、閉鎖後のし尿処施設の解体・撤去を行います。また、コンクリート舗装や排水処理施設などの環境整備を行います。

地域医療連携システム導入事業

予算額 1,950万円／医療センター医事管理室

県内複数の医療機関、介護施設と患者の情報を共有できる地域医療連携システムを導入し、地域医療提携体制の整備を進めます。

空家等活用・対策事業

予算額 176万円／営繕住宅室

空家の活用を促進するため、空き家情報バンク制度を利用し、また、管理不全状態の空家など周辺に悪影響をおよぼす空家に対し、適切な措置を行います。

ワーク・ライフ・バランス推進事業

予算額 58万円／共生社会推進室

新しく「亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間〔11月11日(土)から26日(日)までの16日間〕」を設け、市民一人ひとりや事業所にワーク・ライフ・バランスを意識、実践していただく機会とします。

高速交通促進事業

予算額 561万円／企画政策室

リニア中央新幹線の全線早期開業に向け、関係機関と推進活動に取り組むとともに、市内停車駅誘致に向けた情報収集および基礎調査として、先進地自治体などへの視察や経済波及調査を行います。

地域人材キラリ育成事業

予算額 1,542万円／生涯学習室

地域での学びを深めて、地域で活躍できる人材を確保していくために、中央公民館講座・行政講座・市民大学をフィールドに人材育成を進めます。

地籍調査事業

予算額 547万円／用地管理室

土地利用の促進や大規模災害に備えるため、所有者や地番、境界、地積などに関する調査を行い、地籍の明確化を進めます。

生活困窮者自立支援事業

予算額 1,891万円／地域福祉室、学校教育部

生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、生活困窮者の自立の促進を図るため、自立相談支援事業、住宅確保給付金、家計相談支援事業、学習支援事業に取り組みます。

年収約420万円の
家計に例えると…
(市予算の1／5000)

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

平成29年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみました。

市のさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入

28年度からの
増減

支出

28年度からの
増減

現金収入合計 346万円 (−5万円)

給料(基本給) 211万円 (−1万円)
▶ 市税、分担金および負担金

給料(諸手当) 58万円 (−2万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等

パート収入 13万円 (0万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料

祖父母からの仕送り 64万円 (−2万円)
▶ 国庫支出金、県支出金

ローン(借入金) 46万円 (+15万円)
▶ 市債

貯金の取り崩し 27万円 (−5万円)
▶ 繰入金

繰越金 2万円 (0万円)
▶ 繰越金

収入合計 421万円 (+5万円)

生活費用合計 299万円 (−6万円)

食費 66万円 (0万円)
▶ 人件費

医療費 62万円 (−2万円)
▶ 扶助費

光熱水費などの雑費 103万円 (3万円)
▶ 物件費、補助費等

車などの修理代 10万円 (−1万円)
▶ 維持修繕費

教育費 58万円 (−6万円)

子どもへの仕送り 36万円 (1万円)
▶ 繰出金

ローンの返済 45万円 (1万円)
▶ 公債費

家や庭の建築・改修 38万円 (9万円)
▶ 普通建設事業費、災害復旧費

貸付など 1万円 (0万円)
▶ 貸付金、投資および出資金

貯金など 2万円 (0万円)
▶ 積立金、予備費

支出合計 421万円 (+5万円)

平成29年度の家計は…

家計簿をしっかりとチェックして、収入に見合った支出を心がけないとね。



収入は、昨年度に比べて基本給および諸手当が減る見込みです。

支出では、生活費の医療費・教育費は減ったものの、家などの改築・改修が増えているため、収入の不足分は貯金をあまり取り崩さずに、ローンの額を大きく増やしたことにより補っています。

このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろんのこと、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しは最小限にとどめ、ローンを借り入れることにより支出の平準化を図り、家計の安定に向けてより一層の努力していきます。

歴史・ひと・自然が心地よい

緑の健都 かめやま



平成29年度版 亀山市

わかりやすい予算書 ことしの予算

編集・発行 亀山市企画総務部広報秘書室

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp>